

新潟市と「災害に強くだれもが安心して暮らせる地域社会の実現」に向けた 消防団活動支援備品の寄贈について

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、新潟県新潟市の地域レジリエンスのさらなる向上を図るため、新潟市（市長：中原 八一）と「災害に強くだれもが安心して暮らせる地域社会の実現」に向けた消防団活動支援備品の贈呈式を開催したことをお知らせします。



1. 背景・経緯

損保ジャパンは、1888年に日本初の火災保険会社として創業し、当時の警視庁より認可された唯一の私設消防団を組成して、身を挺してお客さまを火災からお守りする火消しという地域貢献を行っていました。現在はこの「火消しの精神」を「HIKESHI DNA」と再定義し、激甚化する自然災害への対応や社会課題の解決に貢献する「HIKESHI DNA 2030 Project」を全社で展開しています。

このような背景のもと、防災の最前線である消防・消防団との連携を強化し、災害に強くだれもが安心して暮らせる地域社会を目指すため、2017年9月に包括連携協定を締結している新潟市へ消防団活動支援備品の寄贈等を提案しました。

当社が地域の消防・消防団と連携し、支援する取組みは新潟市が全国で3例目となります。

2. 目的

損保ジャパンと新潟市は、防災・減災に関する幅広い連携を行うことにより、新潟市の地域レジリエンスの向上を目指します。

3. 贈呈式

（1）日時：2026年9月3日（木）

（2）場所：新潟市役所

（3）主な出席者：

- ・新潟市長 中原 八一
 - ・新潟市消防団長 渡部 直人
 - ・新潟市消防局長 阿部 一彦
 - ・損害保険ジャパン 新潟支店長 村山 洋一郎
- （4）寄贈品：応急手当資器材 等

4. 今後について

損保ジャパンは、地域創生に関する包括連携協定のもと新潟市消防局と連携し、災害に強く安心・安全な地域社会の実現に取り組んでいきます。



HIKESHI DNA 2030 Project

「HIKESHI DNA 2030 Project」は、当社の原点である"火消しの精神"を今に受け継ぎ、地域と連携して「災害に強く、だれもが安心して暮らせる地域社会の実現」を目指すプロジェクトです。

以上